

経営理念

基本理念

地域金融の円滑化と利便性の向上に努めることにより、中小企業の健全な発展、地域住民の生活向上および地域社会の繁栄に貢献してまいります。

基本姿勢

①お客様本位の経営

お客様にご満足いただける質の高い金融サービスを提供し、真にお役に立つ地域金融機関となります。

②健全かつ透明性の高い経営

健全経営に徹するとともに、適切な情報開示に努め、信頼され、親しまれる地域金融機関となります。

③活力ある経営

チャレンジ精神に溢れ、自由闊達な企業文化を創造し、働きがいのある地域金融機関となります。

目次

皆さまへのメッセージ	2
足利小山信用金庫のCSR	4
総代会	12
リスク管理とコンプライアンス (法令等遵守)の態勢	14
平成20年度業績のご報告	16
商品・サービスのご案内	18
沿革	24
資料編	25
足利小山信用金庫の経営体制	45
店舗のご案内	46



足利小山信用金庫のデータ

平成21年3月31日現在

本店所在地	栃木県足利市井草町2407-1
店舗数	26本支店5出張所
預金残高	2,751億円
貸出金残高	1,342億円
出資金	10億円
会員数	25,973名
常勤役員数	324名

本誌は信用金庫法第89条(銀行法第21条準用)に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

本誌に記載の比率、金額は原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

本誌には、将来の業績および財政状態に関する内容が記載されています。これらの記述は、当信用金庫を取り巻く経営環境などにより、異なる結果となることもあります。予めご承知おきください。

地域と歩む足利小山信用金庫

足利小山信用金庫は、栃木県の県南地域を中心とする県央と、群馬県の桐生市・太田市・館林市・邑楽郡と茨城県の結城市・古河市を営業エリアとし、地域の皆さまとの強い信頼関係のもとで事業展開をしています。

当金庫の前身である足利信用組合は地域の産業育成を目的に大正14(1925)年10月に設立され、昭和26(1951)年に信用金庫への改称を経て、平成16(2004)年11月の足利信用金庫と小山信用金庫の合併により県内最大の信用金庫を形成するに至りました。

現在では26本支店5出張所のネットワークを展開し、個人・個人事業所・中小企業・地方公共団体等約20万先とのお取引を通して、地域経済の活性化に取り組んでいます。

